

【2】-3. 運用設定

ふくろう販売の各種設定を行います。

1) 導入設定・規定値設定

	項目名	設定値	説明
1	導入開始日		ふくろう販売の本番開始日です。導入後に変更不可になる項目もあります。
2	在庫開始日	2015/01/01	在庫数はこの日付以降のデータを集計します
3	決算月日	1299	会社の決算月日です。mmdd形式で指定してください。(日部分は1~27,末日=99で指定してください)
4	入力可能年月日自		これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用します
5	入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用します
6	受発注入力可能年月日自		これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用します(受注、発注)
7	受発注入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用します(受注、発注)
8	入力禁止曜日(売上)		これ以前の日付の曜日は登録できません。売上伝票、入金伝票に影響します。
9	入力禁止曜日(仕入)		これ以前の日付の曜日は登録できません。仕入伝票、支払伝票に影響します。
10	税算出法	一括税	会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を指定します
11	税計算方法	請求(支払)時外税	得意先、仕入先の新規登録時初期値です
12	消費税コード	ZEIKIN	消費税の商品コードです
13	標準課税売上コード	課売	商品登録で課税区分(売上)の初期値になります
14	標準課税仕入コード	課仕	商品登録で課税区分(仕入)の初期値になります
15	伝票初期表示担当者	マスター設定担当者	伝票の新規登録時の担当者初期値です。
16	得意先別商品単価	得意先別商品単価を使用する	受注、売上で得意先別商品単価の使用を指定します
17	仕入先別商品単価	仕入先別商品単価を使用する	発注、仕入で仕入先別商品単価の使用を指定します
18	倉庫を使用する	する	各入力画面で倉庫を入力するかどうかを指定します

・導入設定、規定値設定を行います。

- ① 各項目の説明にしたがって、設定値欄に入力、または選択します。
- ② 入力終了したら、「更新」ボタンを押します。

※導入後、データが発生した場合に修正できない項目は自動的に入力できなくなります。

※各項目の詳細に関しては、説明文を参照してください。

2) 会計連動設定

- ・弥生会計、勘定奉行との会計連動を設定します。

項目名称	説明
連動会計ソフト	<p>会計連動オプションの使用と使用する場合の連動会計ソフトを表示しています。 ※導入時に設定されます。お客様にて変更はできません。 連動を行わない・・・「なし」 弥生(株)製品 弥生会計との連動・・・「弥生」 (株)OBC製品 勘定奉行iとの連動・・・「奉行i」</p>
仕訳部門	<p>会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。 「する」にした場合は、部課マスタにて「弥生補助」または「奉行補助」を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。</p>
赤黒転記	<p>会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、伝票修正、削除時に赤伝黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。 ※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。</p>
転記済み伝票の修正	<p>会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。</p>
勘定科目コード桁数 補助科目コード桁数 部門コード桁数 取引先コード桁数 伝票No桁数 (勘定奉行i使用時のみ)	<p>勘定奉行iで設定している各項目の桁数を設定します。</p>